令和8年度　出張講座　講座一覧

島根県立大学 浜田キャンパス

NO.	講師	講座内容
1	江口（えぐち）　真理子（まりこ） （国際関係学部　教授）	イメージでわかる英語の音声　―英語音声学入門― 英語には日本語に存在しない音素が多くあり、それがリスニングとスピーキングの壁になっています。この講座では、そのような音素について、見たことがある写真を使って、わかりやすく説明します。ミニマルペアーを使い、日本人にとって聞き取りが難しい英語の単語を聞き取り、発音する練習します。
2	中村（なかむら）　圭（けい） （基礎教養部　教授）	県大で学んでみませんか？お子様連れ大歓迎！～現代の必須の教養「ジェンダー論」入門～ 昨年、初開講して受講生288人を集めた県大浜田キャンパスの人気授業「ジェンダー論」。受講理由に「ジェンダーは現代の必須の教養です！」をあげた学生さんは３割を超えました。私たちの生活に密接に関係し、知らなかったではすまされないジェンダーの知識について、この機会に大学に来て学び、知識をアップデートしませんか？
3	深串（ふかくし）　徹（とおる） （国際関係学部　准教授）	日本－台湾関係の80年 戦後80年となる今年は、第二次世界大戦の終結とともに日本と台湾の関係性が大きく変わってから80年という年でもあります。しかし、日台関係は、この80年の間にも様々な変化をとげてきました。本講座では、知られざる戦後日台関係の歩みを政治と社会の両面からふりかえっていきます。
4	濱野（はまの）　靖一郎（せいいちろう） （地域政策学部　教授）	観光名所と手土産の歴史　－「のどぐろもなか」誕生をふまえ－ 観光名所と呼ばれる地域・名所には、大体そこを連想させる「お土産」が存在します。伊勢の「赤福」や仙台の「萩の月」などです。では、こうした「観光」と「お土産」が一般化した歴史はどのようなものなのでしょうか。大学と浜田市、錦栄堂の連携でこの度生まれた「のどぐろもなか」の誕生経緯も含め、お話ししていきます。
5	濱野（はまの）　靖一郎（せいいちろう） （地域政策学部　教授）	聖地巡礼と「まちづくり」 近年、「聖地巡礼」がブームである。アニメ・漫画・ゲームや、ドラマで舞台となった土地を訪れ、自分がその物語を体感する、という営みである。「聖地」と言える場所もヒット作ができる旅に増殖しているが、この営みはどのように来歴があるのだろうか。日本史を紐といて様々な時代の「聖地」を検討し、これからの「まちづくり」に繋げていく内容である。
6	村山（むらやま）　誠（まこと） （地域政策学部　教授）	知っているつもりのコミュニケーション。地域活動に欠かせないコミュニケーションとは？ 人々が協力しながら地域活動をするためには、コミュニケーションが重要なことはご存じですよね。しかし、コミュニケーション方法を学んだ経験はあまりなく、自分のコミュニケーション方法があっているのか？不安ではありませんか。そこで、地域活動において必要なコミュニケーション方法を一緒に学びましょう!
7	村山（むらやま）　誠（まこと） （地域政策学部　教授）	地域における様々な問題の解決策の導き方 地域活動をする中では、さまざまな問題が発生しています。こうした問題を解決していかないと地域は良い方向へ進んでいくことができません。しかし、問題に気付かないことや問題を正しく認識できないことが多いのが現実です。そこで、問題の解決方法について一緒に学びましょう!
8	村山（むらやま）　誠（まこと） （地域政策学部　教授）	「情報に騙されていませんか？」 人間の判断を誤らせるメカニズムについて 人間は情報処理が苦手なのは知っていましたか？実は人間の脳はサボることが大好きなのです。情報が多ければ多いほど正しい判断ができると思っていませんか。しかし、実際は偏った情報を集めて偏った判断をしていることが多いのです。皆さんがより良い判断ができるように、判断を誤らせるメカニズムを探求してみませんか？
9	村井（むらい）　重樹（しげき） （地域政策学部　教授）	現代の若者について社会学的に考える 「最近の若者は…」というフレーズは、時代を超えて繰り返し語られてきた言葉のひとつでしょう。はじめは当事者として聞かされ、うんざりしたかと思うと、いつしか自分がその言葉を発する側に回っていたりします。現代の若者は何を思い、どこに価値を置き、どのように行動しているのか、社会学の視点から考えてみます。
10	角（かど）　能（よく） （地域政策学部　准教授）	いま求められている家族・地域・専門職の役割の分担における論点は何か ―何と何とのバランスを意識すべきか？ さまざまな意見が飛び交い混迷の状況にある一方、究極のパターンがない、それが地域福祉です。本講座は、このような支援を行えばこのような結果が出るという因果関係の解明ではなく、同時に情報の洪水に振り回されてしまわないように、このような地域福祉の方法もありうるという見方のレパートリーを広げる講義を行います。
11	建井（たてい）　順子（じゅんこ） （地域政策学部 准教授）	若年女性の地方からの流出要因 ～島根県を中心に～ 近年、進学、就職を契機に地方から都市へ転出した若者のうち、特に女性は都市に留まり地方へ戻らない傾向があることが知られるようになった。本講義では、若年女性が地方から流出する要因、都市に留まり続ける要因を『令和7年版男女共同参画白書』と各種データから探り、そうした動きを緩和させるための地方の方策を考えてみたい。
12	賈（か）　悦（えつ） （地域政策学部 講師）	「共同親権」について考えてみよう 父母が離婚した場合の子の利益を守るために、令和６年５月に成立した民法改正では、離婚後の共同親権制度の導入をはじめ、養育費の履行確保、親子交流の範囲の明確化等の見直しが行われました。民法改正により何が変わるのか、父母の離婚に直面する子の利益をどう守るのかについて、検討します。
13	西嶋（にしじま）　一泰（かずひろ） （地域政策学部　講師）	スマホのアプリをつくろう！ やってみよう身近な課題解決（第１回） スマートフォンで実際に動くアプリを誰でも簡単につくることができるMIT App Inventorを使って身近な課題を解決するアプリを作ってみませんか？Wifiに接続可能なPCと、アプリをインストール可能なスマートフォンをお持ちください。全2回の講座です。
14	西嶋（にしじま）　一泰（かずひろ） （地域政策学部 講師）	スマホのアプリをつくろう！ やってみよう身近な課題解決（第２回） スマートフォンで実際に動くアプリを誰でも簡単につくることができるMIT App Inventorを使って身近な課題を解決するアプリを作ってみませんか？Wifiに接続可能なPCと、アプリをインストール可能なスマートフォンをお持ちください。全2回の講座です。
15	西嶋（にしじま）　一泰（かずひろ） （地域政策学部 講師）	地域の課題解決を考える 地域づくりコーディネートゲームをやってみよう！ 地域づくりを支援するサポーター向けの研修キット『地域づくりコーディネートゲーム』を体験してみませんか？架空の地域を設定し、“身の丈にあった活動”をどう組み立てていくのか？をゲーム感覚で学んでいきます。
16	福永（ふくなが）　大輔（だいすけ） （図書情報課　主任）	日常生活から仕事まで。使いこなそう、生成AI。 話題の生成AIを実際に触って体験できる入門講座です。ChatGTPやGeminiなど生成AIに興味あるもののなかなか始めるきっかけがない方は、一緒に始めてみませんか？Wi-Fiに接続可能なパソコンをご持参ください。
17	福永（ふくなが）　大輔（だいすけ） （図書情報課　主任）	家もスマホも、お店も守る！ ゆるセキュリティ対策はじめませんか？ 情報セキュリティって難しそう。でも、ちょっとした見直しや心がけだけで、グッと安心に近づきます。ITの専門的知識がなくても取り組める、日常生活に役立つセキュリティのコツを学びませんか？